

【記者発表資料】

国道10号 日向市松添地区の歩道が歩きやすくなりました！

～歩行者の通行の安全確保のために～

1) 概要

日向市大字平岩字松添地区下り線（宮崎市方面）の450m区間の歩道は、住居等が密集し、車両等の出入り口が多いため、歩道が凸凹し歩きにくい波打ち状態の歩道となっていました。

今回、歩道の波打ち状態を解消することにより、車両等の出入り口の緩勾配化、歩道舗装のフラット化を図り、高齢者や通学児童等にやさしい歩道整備を目的に整備を行いました。

2) 施工内容

歩行者・自転車等が通行しやすくするため車道と歩道の高さを5cmとするセミフラット方式の歩道施工を行っています。セミフラット方式を採用することにより、歩道縦断方向の凹凸が解消され、スムーズな歩行・通行が可能となります。

併せて民地乗り入れ口箇所の勾配も緩やかになり、車両の出入りがスムーズになるよう施工しました。

また降雨時等の歩道の水たまりを防ぎ歩きやすくするために、歩道舗装下面に雨水等を浸透させる透水性アスファルト合材を使用しました。

総事業費：約20百万円

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所 道路管理課長 水口 高通
延岡国道維持出張所長 古閑 靖啓
電話：0982-31-1155（代表）

国道10号 日向市松添地区の歩道が歩きやすくなりました。

